

広報

なすからすやま

No.171

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集 NO MORE! 受動喫煙	2
厚生労働副大臣台風19号被災調査	5
地域おこし協力隊奮闘記	6
市内3人に栄えある叙勲	8
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム	9
中学生海外派遣事業	10
なすから人権フォーラム	12
宇大と八溝そば協が共同研究を契約	14
まちのわだい	16
インフォメーション	18
鳥山高校の紹介・ジオパーク構想だより	20

2019

12

December

国見の山でミカン狩り(11月12日 ミカン狩り体験)

NO MORE!

受動喫煙

望まない受動喫煙を防止するための取り組みが、7月から学校や医療機関など一部の施設で始まりました。健康増進法の改正により来年4月には、事業所や飲食店など、多くの人が利用するすべての施設において、原則として屋内禁煙となり、喫煙に対する対策が必要になります。今月号では、改正された健康増進法の概要と喫煙・受動喫煙の危険性をお知らせします。

本市の喫煙状況

市では、第1期健康プラン評価および第2期策定のため、平成27年8月、18歳から79歳までの市民1300人を対象に郵送による調査（アンケート）を実施しました。調査は食事や運動、ストレス、睡眠、酒、たばこ、歯磨き、体格、健康診断受診状況など24項目について無記名で実施。その結果、有効回答者は981人、率にして75%、小・中学生、高校生においては、100%の回答率でした。アンケート調査から平成27年度の市民の喫煙状況をみると、20歳代男

性は2割に激減し、40歳代の男性も、減少傾向になり、健康に対する関心が高まっています。一方、女性の喫煙割合は元々低い状況ですが、40歳代における喫煙率の高さが目立っています（図1）。

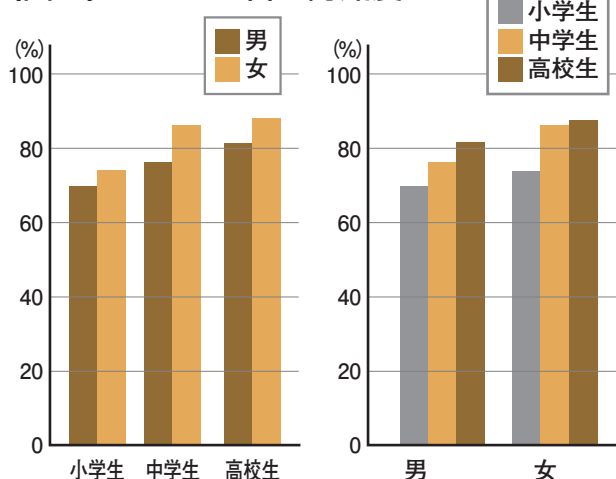
たばこの害の認知度では、男子よりは女子、また、学年が上がるごとに身体への影響の認知度は、高まっていることがうかがえます（図2）。

受動喫煙の状況

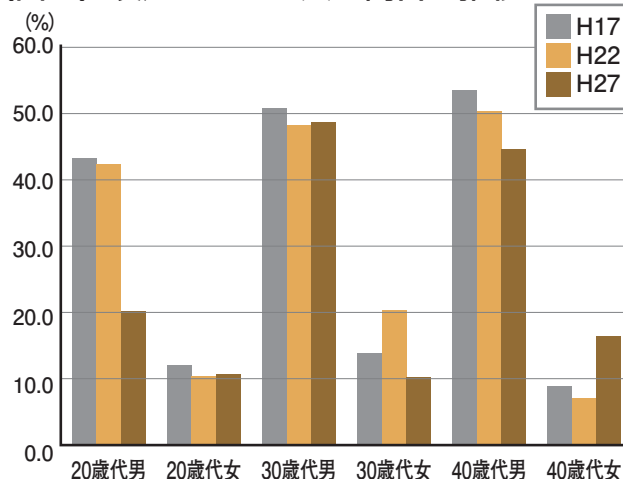
受動喫煙の状況では、家庭や車の中で、たばこの煙を受ける機会が多いこ

※写真はイメージです

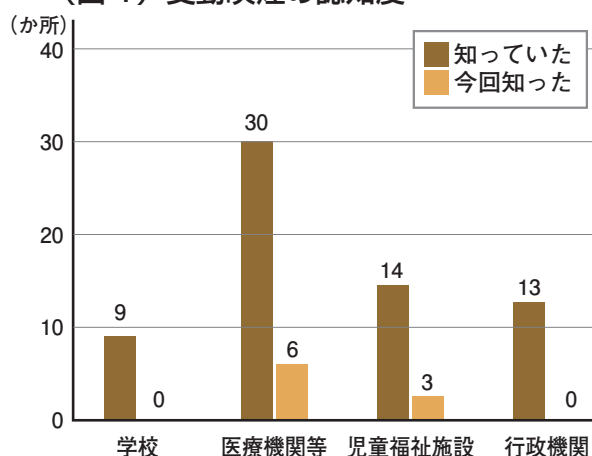
(図2) たばこの害の認知度 (H27)



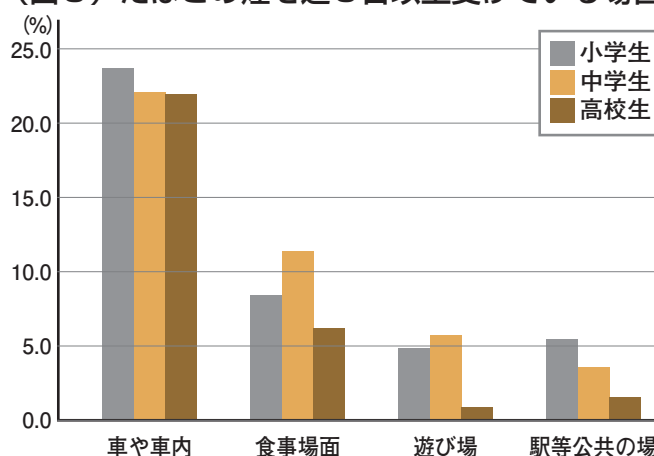
(図1) 喫煙している人の割合の推移



(図4) 受動喫煙の認知度



(図3) たばこの煙を週3日以上受けている場合



健康増進法が改正 マナーからルールへ

昨年7月、健康増進法の一部を改正する法律が成立し、来年4月に全面施行され、受動喫煙の防止が強化されます。受動喫煙とは、他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることで、がんや呼吸器の病気などの健康被害が起るため、問題となっています。改正法は、「望まない受動喫煙をなくす」、「受動喫煙による健康影響が大

とが分かります(図3)。このことから、家庭での受動喫煙対策が、大きな課題であると考えられます。

今年7月から第一種施設(学校や児童福祉施設、病院・診療所、行政機関の庁舎など)が原則として敷地内禁煙(屋外の喫煙場所設置可)になったことから市では、7月に市内の第一種施設80か所を対象にアンケート調査を実施したところ、75か所から回答がありました。その結果、受動喫煙に対しては、ほとんどの施設で認知していましたが、今回のアンケートがきっかけで知った施設もあり、周知不足もうかがえました(図4)。全国的に禁煙の意識が高まり、受動喫煙への対策が進んでいる中、喫煙場所を設けている施設が複数ありました(図5)。学校や児童福祉施設など、受動喫煙防止を率先して行うべき施設でも喫煙場所があり、今後、受動喫煙の対策強化が、課題となります。

吸うときは確認してから

健康増進法の改正で、以前は喫煙できていた場所も多くが禁煙になります。たばこを吸うときは、喫煙できる場所かどうかを確認しましょう。また、たばこは喫煙者だけでなくまわりの人にも健康被害を与えます。喫煙者の吸うときは周りに人がいないことを確認することが大切です。

「施設の類型・場所ごとに対策を実施する」という3つの基本的考え方、多くの施設の屋内原則禁煙や20歳未満の喫煙エリア立ち入り禁止、屋内喫煙の場合の喫煙室設置、喫煙室の標識掲示を義務付けました。

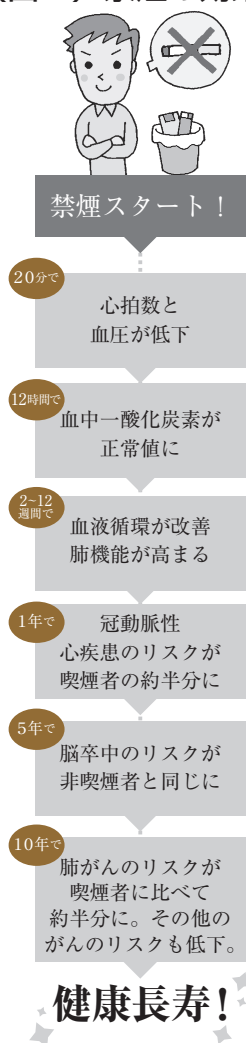
7月から第一種施設が敷地内禁煙となっていますが、来年4月からは、飲食店や事業所・工場、ホテル・旅館などすべての施設で原則屋内禁煙(喫煙専用室、加熱式たばこ専用喫煙室の設置可)となります。

それに伴い、事業主のみなさんは、分類に沿った喫煙室の設置や従業員への受動喫煙対策が必要となります(図6)。

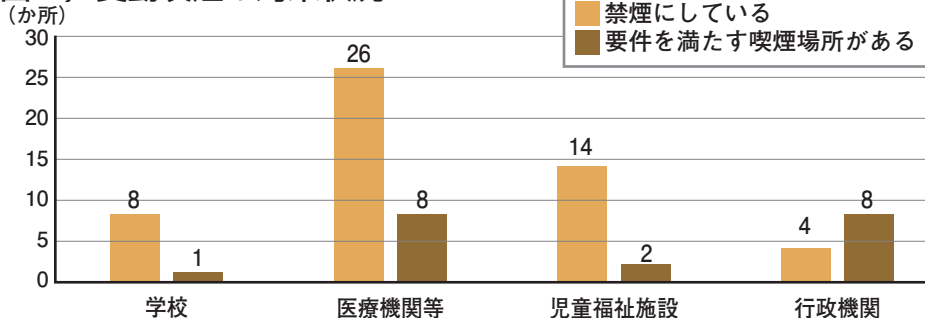
禁煙のススメ たばこ、やめませんか?

たばこは、日本人が命を落とす最大の原因です。喫煙のリスク要因別の関連死亡者数は、年間約13万人に上り、1日に約350人もの人がたばこが原因で亡くなっています。たばこの害は、肺が

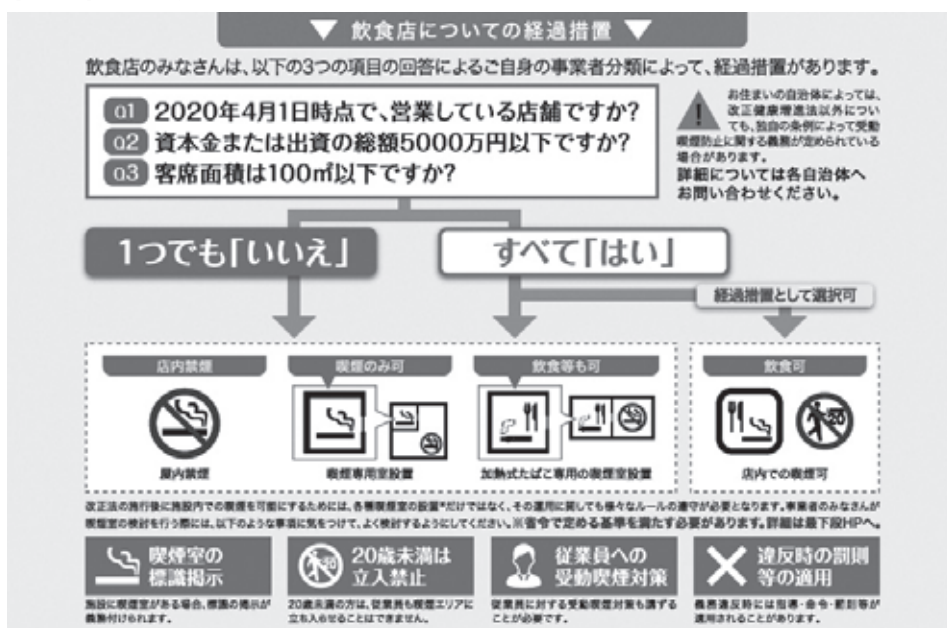
(図7) 禁煙の効果



(図5) 受動喫煙の対策状況



(図6) 飲食店の分類別経過処置



「禁煙の効果」

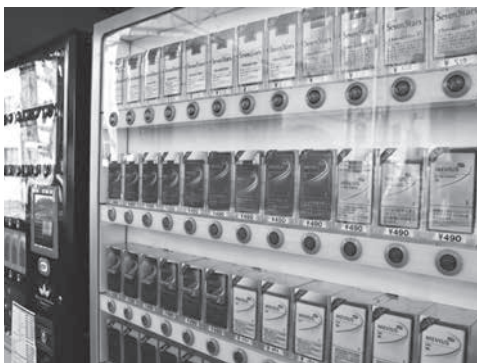
「長年吸っているから今更やめても意味がない」と思っていないでしょうか? しかし、今からでも禁煙することで、様々な健康リスクを大幅に軽減することができます。例えば、禁煙してから10年後には、肺がんのリスクが喫煙者に比べて約半分に低下し、口腔がん、食道がん、胃がん、喉頭がん、膀胱がん、子宮頸がんのリスクも低下することが報告されています。今からやめても十分間に合います。

ただこの先から出る煙以外にも、たばこを吸った人が吐きだす息や衣服、部屋の壁紙、カーテン、カーペットなどに付着した有害物質を吸い込むサードハンドスモーク(三次喫煙)も問題になっています。喫煙後30〜40分間は、喫煙者の息から有害物質が出つづけていることが分かっています。

禁煙外来を受診しよう!

やめたくてもやめられない喫煙は、「ニコチン依存症」という病気です。ニコチンは、麻薬と同じくらい依存性が高いと言われています。

禁煙外来という「厳しく禁煙を指導される」といったイメージがあるかもしれませんが、実際はそのようなことはなく、禁煙に向けて励ましたり、上手



「加熱式たばこ」は安全?

近年、急激に普及している加熱式たばこ。紙巻きたばこに比べてニコチン以外の有害物質の体への取り込みは減少しますが、有害物質が減ってもそれに見合う分病気のリスクが減る保証はありません。また、加熱式たばこには、ニコチンが紙巻きたばこと同程度含まれるため、ニコチンにしばられた生活が続きます。

厚生労働副大臣 台風19号被災調査

城東浄水場や
境浄水場視察

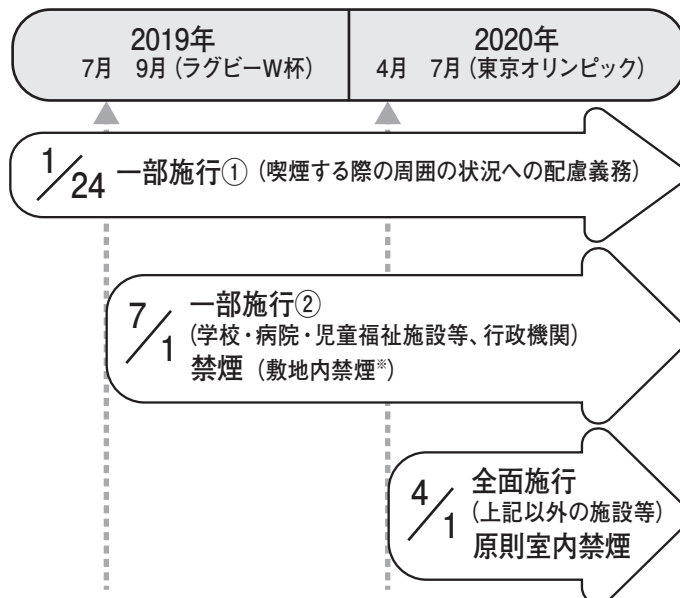
10月29日、稲津久厚生労働副大臣が本市を訪れ、台風19号で被災した市内の浄水場などを視察しました。
これは、県内の断水約5200戸のうち、本市が約4000戸と甚大な被害を受けたことから被災状況を視察して復旧に役立てようといわれたものです。
当日は、水道庁舎で面談し、川俣純子市長が、市内4つの水道施設の被害状況を説明した後、岡本誠司副知事が、県内の水道施設の早期復旧や感染症予防に対する支援などの緊急要望書を提出

しました。
その後、約2900戸と烏山地区市街地の大部分が断水した原因となった城東浄水場や土砂の堆積などで被害が大きかった境浄水場へ移動。浸水により機能が停止した電気・機械設備などを確認しました。
稲津副大臣は、「断水対策や今後の方向性を考えるためしっかりと調査したい。政府一丸となって復旧・復興に向けて全力で支援していきたい」と話していました。



城東浄水場の被害状況を視察する稲津副大臣（手前）。今回の視察を受け、今後の対策や方向性が検討される

（図8）たばこの煙から守ってくれるルールは、いつから始まるの？



に禁煙できる方法をアドバイスして、禁煙をあたたかく支援してくれます。
禁断症状を和らげる禁煙補助薬（飲み薬のバレニクリンまたは貼り薬のニコチンパッチ）を処方してもらえるので、自力に比べて「楽に」しかも「確実に」禁煙できます。また、禁煙治療は医療保険を受けられるため、1日1箱吸う人では、たばこ代の約3分の1から3分の2と安い費用で治療が受けられます。

今後の方向性

たばこを吸わない人を煙から守るルールは、来年の東京オリンピック・パラリンピックまでに段階的にスタートします。望まない受動喫煙のない社会を目指

すため今後は、喫煙のルールを広く周知するとともに、受動喫煙対策の推進と同時に禁煙も進めていく必要があります。

禁煙は何度でもチャレンジできます。大切なのは、禁煙したいという気持ちと、禁煙するための手段を知っていることです。喫煙者には不便な世の中。いつそのこと、禁煙にチャレンジしてみませんか？

■問合 健康福祉課健康増進グループ
0287-88-7115

地域おこし協力隊

最終回



市田隊員



田中隊員



榎本隊員

奮闘記

地域おこし協力隊が那須烏山市へやってきて3年。あっという間に任期終了を迎えました。

隊員は縁もゆかりもない本市に移り住み、様々な困難、苦勞を乗り越えながら、自身の強みを生かした数々の活動を展開してきました。

今月号では、隊員の3年間の取り組みを紹介します。

なかでも、一貫して行ってきた活動は、「ローカルメディア」やみぞMagazineです。ホームページを作り、まちの人や団体を取材し、記事を作成し市内外に広く情報発信してきました。

私は3年間で、情報発信やイベント企画、外部サイトへの寄稿、NPO団体活動への参加、協力隊通信発行など、多種多様な活動を行ってきました。

榎本 子
真紀 隊員

ローカルメディアでの魅力発信と
古民家で交流イベントの開催

いと言ってくれたことや新たなつながりを作れたことは、3年間の成果であり、まちにとってプラスとなったと実感しています。

また、ほたるの里の古民家大木須で、イベントを企画・運営したことも良い経験となりました。企画から後処理まで一通りの流れを経験し、イベントを行う大変さを実感しました。事務局長



やみぞMagazineの地域の人へインタビュー



にぎわいを戻そうと打ち上げられた花火

2019
那須烏山

市民秋まつり

復興と復旧願い秋の夜空を花火彩る

台風19号により延期となっていた「2019 那須烏山市民秋まつり花火大会」が、11月16日(土)、保健福祉センター周辺で開かれ、5000人あまりの地域住民などでにぎわいました。

当日は、午後2時から「自由広場」おもてなしコーナーが開かれ、会場には「からあげ」や「やきとり」、「金魚すくい」などの模擬店がずら

り。多くの子どもたちや親子連れでにぎわいました。

日が落ちた午後6時前からは、オープニングセレモニーが行われ、市民秋まつり実行委員長の川俣純子市長が、「本市は、台風19号の影響により大きな被害を受けましたが、多くの人々からの熱意により、花火大会を開催する運びとなりました。復興に向け、皆さんの心に



金魚すくいは子どもたちに大人気

花を咲かせたい。約2000発の花火をご堪能ください」とあいさつ。その後、カウントダウンが行われ、約40分間にわたり花火が秋の夜空を彩りました。

田中 久美
市久美 隊員

市の食資源を活用したメニュー開発や 移動式喫茶店の開業

私は協力隊の3年間の活動とおし、カフェ開業を念頭に、那須烏山市が誇る様々な「食」をメインにした取り組みを展開してきました。市内の農産物など豊富な食資源を活用したメニューの開発や、市内の空きスペースを活用し「火よう日のごはん」といったカフェを運営。

育児中の母親の息抜きや仕事の間を提供したことや、那須烏山の名物!? カレーコロッケを使った「CCB(カレーコロッケバーガー)」を市内の加工所で製造し、烏山高校や市役所、イベントなどで販売しました。

また、「烏合の手」の活動に参



コーヒーを入れる市田隊員

画させていただき、国見のみかんを活用したジュースの開発や、地域雇用創造協議会のメンバーとともに、米粉スコーンの開発などに取り組みました。

これらの活動を行ううえで、人件費などの捻出やスケジューリング管理、食材集め、人材の確保など、大変苦労しました。しかし、メンバーや市内の人々をはじめ多くの人の応援により、念願であったキッチンカーによる移動喫茶店「彼処珈琲」の開業を達成することができました。

今後引き続き、那須烏山市の一市民として、愛犬ぼるちと生活しながら、市内外の様々な施設やイベントで出店していきます。そして、市内の人たちにはキッチンカーの存在を楽しんでもらいたい、市外には那須烏山市をPRしていきたいと考えています。また、若い世代の人たちに、働き方のひとつとして「起業」を提案できる存在になりたいと思っていますので、今後も応援よろしくおねがいします。

た。毎回、テーマを変えてインタビュを行うのですが、記事をまとめるのは苦労しました。記事を書く中で、インタビュ記事や写真の難しさを実感しました。これらの活動をおし、那須烏山市を知らなかった人が現地に來てくれたり、また來た

田中 久美
市久美 隊員

若者の「コミュニティづくりで 居心地のよいまちへ」

この3年間は主に「ハードルの低いまちづくり」をモットーに、地域の若者の居場所づくりに取り組みました。活動当初は、「笑いや楽しさをテーマにした緩やかなコミュニティがこの市にもっとあっても良いのに」と思い、遊びのコンテンツを活用した「若者と地域のつながりの場」を創出しました。

その後、空き店舗を活用した中心市街地活性化として、地域の若者の居場所づくり「サードプレイス」の創出に向け、協力隊活動拠点「870」で様々な活動を行いました。特に思い出に残っている取り組みは、「it's a project」です。10代〜20代の若者が気軽に集まれる「学習塾」

の大貫さんに「いいイベントだった」といつてもらえたことや、参加者から「参加してよかった」と言ってもらえたことは、自分にとってプラスの経験となりました。

今後も那須烏山市に住みながら、場所を問わず働けるような

のスタイルで、中高生が勉強だけでなく、自分らしくいられる場、人生教育の場を提供しました。取り組みは失敗に終わりましたが、自分にとって非常にプラスの経験となりました。

このように、人が相互のコミュニケーションをとれるような仕掛けを施してきた結果、私の活動に賛同してくれる人とのつながりを作ることができました。都会暮らしから一転、那須烏山市での様々な活動をおし、ものごとの本質をとらえる力が非常に鍛えられたと思います。

任期終了後は都合により、東京に戻るようになってしまいましたが、しっかりと東京で人のためになる仕事をして基盤を作



多くの若者が集った交流会

スキルをさらに磨きたいと考えています。人と会い、関わっていきたくので、黙々とやる仕事や人と関わる仕事、どちらもできたら理想です。発信すること伝えることのスキルやマインドも高めていきたいので、今後ともよろしくおねがいします。

今年の秋の叙勲で、小森幸雄さん(興野)が地方自治功勞で旭日小綬章を受章し、田野建夫さん(野上)が消防功勞で瑞宝單光章を受章しました。また、危険業務従事者叙勲では、警察功勞で小山秀雄さん(金井)が瑞宝雙光章を受章しました。



小森 幸雄さん(興野)

旭日小綬章 地方自治功勞

小森さんは、昭和62年の旧烏山町議会議員選挙で初当選以来、5期18年余にわたって町議会議員として活躍。合併後も4期12年余にわたり市議会議員を務めるなど、31年間という長い議員

活動で地域振興と福祉向上に尽力しました。さらに、平成12年からは南那須地区広域行政事務組合の議会議員として広域圏の発展に力を注いできました。

この間、各委員会の委員長や監査委員のほか、町、市、広域行政事務組合の議会議長を歴任し、議会の円滑な運営と活性化に大きな足跡を残してきました。さらに、地域文化活動や農業振興に尽力した功績が認められました。

受章の報を受けて「身に余る思い」と小森さん。「思い出深いのは、地域の懸案であった興野大橋開通や農業集落排水事業の実現。当時としては若くして議員となったので苦勞もあつたが、多くの人の協力ですべてこられた。感謝に堪えない」と話し、「永い議員活動での収穫は、人とのつながり。これから大切にしたい」と感慨深げでした。



田野 建夫さん(野上)

瑞宝單光章 消防功勞

昭和45年の旧烏山町消防団への入団以来、40年にわたって消防団員として地域住民の生命と財産を守る活動を続けてきた田野さん。災害時の出勤率は非常に高く、分団長として、団員の教育訓練や防火思想の普及にも多大な貢献をしてきました。

「地元で仕事をしているので真っ先に出勤するのが当たり前の時代だった若いころは、晩酌に支障をきたすのが辛かった」と笑顔をみせる田野さん。「大

きな災害では、寝る間もなく消防や水防活動に従事してきた。特に、入団間もないころの宮原の大火は記憶に残る。ともに苦勞した仲間、人生の大きな財産」と話していました。

栄えある叙勲

この道一筋に栄誉 市内3人が受章



小山 秀雄さん(金井)

瑞宝雙光章 警察功勞

さくら警察署で退職するまで、41年

間にわたって県民の安全と安心を守ってきた小山さん。現役時代は、刑事畑を中心に烏山、佐野、宇都宮東、茂木、大田原と、県内の警察署をくまなく回ってききました。ひとたび事件が起きると徹夜続きが何日にもなる生活で、心安らげる家庭を持ったのが、他ならぬ烏山警察署時代。以来、「安心して仕事に専念できたのも、家族のおかげ」と振り返ります。

「受章を聞いたときは、他人事のように実感がなかった。本部の伝達式に出席して、初めて嬉しさがこみあげてきた」と話す小山さん。12月には夫婦で天皇陛下の拝謁に臨みます。「これまで、たびたび天皇陛下の警備をしてきましたが、いつも群衆を向いて神経を集中してききました。やっと正面から陛下を見ることができると笑顔をみせていました。」

による 基本条例 議会報告会 初開催



活発な意見交換が行われた議会報告会

10月27日(日)、烏山公民館で、議会報告会が開かれ、全議員のほか市民など16人が参加し、活発な意見交換が行われました。

これは、4月に施行された市議会基本条例に基づき、市民の立場に立ち、信頼される開かれた議会づくりのため、初めて開かれたもの。当日は、第1部で議会常任委員会の活動報告、第2部では、議員と参加者のフリートークが行われ、市の重要施策や災害対策など様々な意見が寄せられました。市議会では、これらの意見を今後の議会運営に生かしていくことにしています。

在宅医療のあれこれ Part 20

家族介護教室～オレンジクラブ～

毎日の介護、先の見えない介護で行き詰ることはありませんか？

また、初めてのことでどうしたらよいのか、誰に相談したらよいのかと迷ったことはありませんか？

市では毎月1回「家族介護教室～オレンジクラブ～」を開催しています。

○目的

- ・認知症や適切な介護方法、介護者の健康づくりに関する知識や技術の習得
- ・介護中の家族や介護経験者の交流・情報交換

○対象者

介護中の人、介護や認知症に関心のある人、介護経験者

○開催日

毎月第4木曜日 午前10時～11時30分

○場所

保健福祉センターなど

○内容

偶数月は「情報交換会」として、日頃の悩みや介護体験談などを自由にお話できる時間としています。

奇数月は「研修会」として、市内介護施設の見学や認知症状と対応法、高齢者向けの調理実習、リフレッシュ法などを行っています。

○参加者の感想

- ・「この会に来て、なかなか言えなかった悩みを話すことができました」
- ・「同じ境遇の人がいると分かっただけで気持ちが楽になりました」
- ・「経験者からのアドバイスがとてもありがたいです」
- ・「研修会では実際に施設を見学したり、実習したりとためになります」…など。

オレンジクラブは、共感し合える参加者同士の情報交換が最も大切な時間です。あわせて保健師と包括支援センターからすやまの「認知症地域支援推進員」も従事していますので、専門的な相談にも対応できます。

開催については、お知らせ版で案内していますので、気軽にご参加ください。



消費者ほっと♥らいふナビ

オンラインゲームについて

今年も早いもので残すところあと1ヶ月になりました。みなさま2019年はいかがお過ごしでしょうか？

今回は年末年始で時間があるときについつい手を出してしまう「オンラインゲーム」のお話です。

国民生活センターによると、オンラインゲームに関する相談は近年減少傾向にあったものの、2018年度は増加しています。なかでも未成年者の相談が目立ち、小学生の子どもを持つ保護者からの相談が1番多くなっています。

相談の内容をみると、契約当事者が未成年者の場合、「子どもが内緒でオンラインゲームでの高額な課金をしたので取り消したい」など、「契約・解約」に関する保護者からの相談が最も多くなっています。子どもがゲーム機やスマートフォンなどでゲームを利用し、そのアイテムやキャラクターなどを手に入れるため、内緒で課金したことに保護者が気づかないまま利用するケースがみられます。

保護者はカードや携帯電話の請求明細を見たとき、現

金がなくなったことに気づいたとき、使用済みのプリペイド型電子マネーを見つけたときに初めて気づくケースが多くみられます。

低年齢の子どもはカードを利用してもお金を支払っているという認識がない場合があります。保護者の財布などからカードを持ち出すことはお金を持ち出していることと同じで、そのカードを使うことはお金を支払うことと同じであると子どもに理解させましょう！

クリスマスプレゼントでゲーム機やスマートフォンの購入を検討している人は、これらのことに注意して正しい使用方法を子どもに教え、楽しい年末年始をお過ごしください♪



那須烏山市消費生活センター（烏山庁舎1階、商工観光課内）

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン ☎188（局番なし）」へご相談ください。

中学生10人が

アメリカ ウィスコンシン州 メノモニー市に ホームステイ



国際的視野の拡大と国際協調の精神を養うことを目的とした、市の中学生海外派遣事業が、9月22日(日)から10月1日(火)までの10日間の日程で行われ、市内外3つの中学校の生徒10人が、姉妹都市のアメリカ合衆国ウィスコンシン州メノモニー市を訪れました。

派遣先では、ホームステイや学校生活をとおりて、アメリカの教育や文化、生活などを体験。生徒たちは帰国後、現地での活動の様子や感想などを報告書にまとめました。その中から、生徒たちが異国の地で感じた驚きと感動を一部抜粋して紹介します。

今後、これらの感想をまとめた英訳付きの英字新聞を派遣先のメノモニー市に送ることにしています。

■アメリカには日本にない習慣が3つありました。1つ目はコミュニケーションをたくさん取ることです。新しい友達と仲良くなるために努力していました。2つ目は早寝早起きです。トーマスは8時30分に寝て、起きるのも早かったです。3つ目は、授業でコンピューターを使っているのが、タイピングがみんな早く、上手に扱えることです。授業時間と休み時間が短く、8時間目まであるので、効率的に学ぶことができ、やりがいを感じました。事業に参加し、「コミュニケーションやお互いを理解しようとする努力の大切さ」を学び、それらが言葉や文化の違いを超えて心が通じ合うことを実感しました。

井上晃貴

■出発前から、アメリカでの暮らしにとてもワクワクしていました。ですが、実際にアメリカの人たちと話してみると緊張してしまい、自分の言いたいことを思ったとおりに全然伝えられませんでした。メノモニーミドルスクールに通っているうちに少しずつ英語の会話にも慣れていきました。学校にはフレンドリーな人が多く、たくさん話しかけてくれて、とても嬉しかったです。ホームステイ先では、キリスト教と一緒に関心を作ったり、みんなでカードゲームをしたりと、充実した日々を送ることができました。

石倉優美

■自分の英語が相手に伝わらない時もあったり、相手の英語が理解できなかったりと、いろいろな体験をしました。中学校でほかのクラスメイトと一緒に写真を撮りたくて、勇気を出して声をかけましたが、はじめは伝わらず残念な気持ちになりました。けれど、言い方を変えてジェスチャーも交えると通じたようで、一緒に撮影できました。それからは、自信がついて、たくさんクラスメイトと写真を撮ることができました。どんな時でも「伝えたい」と思って行動や言葉で表すことで相



和やかな雰囲気です。よならパーティーに参加した生徒とホストファミリー

手に伝わるのだと思いました。

■ホームステイの家族はとても優しく、温かく迎えてくれました。英語が聞き取れず困っていると、ゆっくり言い直してくれたり、ジェスチャーを使ってくれたりしたので、楽しく会話ができました。最初は自分から英語で話しかけられなかった私も、だんだんと自分から英語で話しかけて会話を続けられるようになりました。ホストファミリーとの時間は、笑顔の絶えない日々でした。だから、お別れをするときも寂しさでいっぱいでしたが、笑顔でお別れしました。またいつか笑顔で会えることを願っています。

高橋瑞乃

■スーパーに行って、一番最初に目に入るのはショークースに入った大量の黄色と緑色のポップコーンでした。私はとても驚いたのと同時に、胸が高鳴りました。風船が売られていたり、カラフルですごく甘い匂いのするスイーツがあったり、大きなピザがあったりと、テーマパークのようでした。アメリカでの生

活は、大変で、辛いこともたくさんあったけど、とても楽しい充実した10日間を送れたと思います。この海外派遣で私はコミュニケーションをとる大切さや、世界の広さを改めて実感しました。

大嶋あかり

■初めてのホームステイで、とても楽しみな気持ちの反面、心配や不安な気持ちも大きくなりました。市内観光の時に、コウディーとジェイムソンが積極的に話しかけてくれたのに、緊張で言葉がうまく出ませんでした。2、3回言葉を返すのが精一杯で自分の力不足と積極性の無いことがショックでした。しかし家につくと緊張が解けて少しずつ話げことができました。市内観光の時が嘘のように話げ通じてうれしかったです。ホームステイはとても勉強になり、ホストファミリーと思い出を作れたことが何よりも良かったです。

小野凌

■私が現地では一番印象に残ったのは学校の授業における自由度でした。服装、頭髪に対して寛容で、お菓子の持ち込みなども許されていました。生徒はとても優しくフレンドリーで、名前を読んで話しかけてくれる生徒やハイトッチをしてくれる生徒がいて嬉しかったです。ホームステイに行き、現地の人々と生活してみても分かったことがあります。それは、伝えようとする気持ちと相手の理解しようとする気持ちがあれば言葉の壁は大きな問題ではないということです。文化や習慣の違いはあっても、気持ちを伝えるということは世界共通だと感じました。

佐藤聖奈

■出発前から、ホストファミリーとうまくやっていけるか不安でした。でも、シエンナがとても優しく教えてくれ、すぐに仲良くなれました。学校のみならず、優しい人ばかりでした。授業と一緒に学んだ時は、話しかけてくれたり、ハイトッチをしてくれたり、とても嬉しかったです。アメリカに行く前に決

宇都宮ブリッツエン

境小で自転車安全教室

本市で初となる「自転車安全教室」が11月12日(火)、境小学校で開かれ、プロのサイクルロードレースチーム「宇都宮ブリッツエン」の選手らが、全校児童83人に安全な乗車技術や意識などを指導しました。

同教室は、自転車による交通事故防止に役立ちたいと、同チーム結成当初から、県内の小・中学校や高等学校などで開いてきた社会貢献活動の一環。これまでの受講者は約5万人にのぼります。

当日は、チームを運営するサイクルスポーツマネージメント(株)の柿沼章社長とチームの主力、鈴木譲選手が、自転車走行のルールやマナー、安全な乗り方、そして自転車の魅力の説明。その後、児童は、校庭の特設コースで、あい路走行やスラロームなどの実技を体験しました。

同校6年の北川美優香さん(上)は、「一流選手に指導してもらって嬉しかった。実技は緊張したけど、うまくできた。これ



鈴木選手の指導を受けて実技講習を受ける児童

から自転車に乗る時は、ルールを守って安全運転を心掛けたい」と話していました。

ミニバスで友好深める

防災協定を締結している埼玉県和光市とスポーツをととして一層の親睦を図ろうと、11月2日(土)、「和光市・那須烏山市スポーツ交流会」が和光市総合体育館で開かれました。

当日は、ミニバスケットボールの交流戦が行われ、本市のスポーツ少年団からは「烏山LITTLE DIPPERS」、「七合スピリッツ」、「南那須ETOWAL」の3団体から54人の選手が参加。和光市の選手と試合を楽しみながら交流を深めました。



●主な日程●

9月22日(日)…那須烏山市出発、羽田空港からミネアポリス空港へ。バスでメノモニー市へ
23日(月)…グリーン農場やキャディ・ウッドラン生家などを見学。生徒は29日までホームステイ
24日(火)…ホームステイ先の生徒とメノモニー中学校で授業に参加
27日(金) うち26日は、オークラウン小学校を訪問し、日本文化を紹介
28日(土)…ホームステイ先の家族と過ごす
29日(日)…さよならパーティーへ参加
30日(月)…ミネアポリス空港出発
10月1日(火)…羽田空港へ到着後、バスで那須烏山市へ

●派遣団員●

団長…神野久志(学校教育課)

団員…井上晃貴(矢板東高附属中2年)、石倉優美(南那須中2年)、森成羽矢(烏山中1年)、高橋璃乃(烏山中2年)、大嶋あかり・小野凌・佐藤聖奈・高橋瑞季・山口舞由・齋藤羽玖(烏山中3年)
随員…菊地新一郎(学校教育課)

めた「積極的に自分から行動する」、「たくさんの人とコミュニケーションをとる」という目標を達成し、自分が何をしたいのか、どんなことを思っているのかをちゃんと伝えたいといけないことを学びました。

高橋瑞季

■現地の学校ではみんながたくさん話しかけてくれたりし、わからないことがあったら教えてくれたりしました。楽しい学校生活を送れたのはみんなのおかげです。ホストファミリーとゴルフをしたこと、とうもろこし畑に行ったこと、トラクターに乗せてくれたこと、いろいろな場所に行ったこと、シエンナとアディーと遊んだこと、ダンスを踊ったこと、書き切れないほどすべてが本当に楽しかったです。言葉は違っても心は通じ合えます。たく

さんの人と楽しく会話できます。メノモニーで出会った人々がそれを教えてくれました。この経験を将来に活かしたいです。

山口舞由

■ホストファミリーの「コディ」と共に、市内を観光しているときは緊張してあいさつくらいしかできませんでした。しかし、家に着くと、ホストファミリーも優しく接してくれたので話せるようになりました。休日は、バーバラさんがアメリカで一番大きいショッピングモールに連れていってくれました。日本では見たことがないものが多く驚きました。10日間の海外派遣は、心に残る充実した日々となりました。また、将来英語について深く学び、改めてメノモニー市に訪れたいと思いました。

齋藤羽玖

なすから人権フォーラム

パラリンピックの楽しさと
障がい者への理解を深める



講演で点字付きトランプを紹介する松本さん

なすから人権フォーラム「パラリンピックを応援しよう」(市教育委員会主催が、11月21日(木)、南那須公民館で開かれ、85人の市民が参加し、障がい者スポーツへの理解と関心を深めました。

フォーラムでは、シドニーパラリンピック柔道銅メダリストの松本義和さんが「エンジョイライフ 楽しく生きなきゃ損!」をテーマに講演。20歳で失明した松本さんが、それまでの生活面や精神面が大きく変化したにもかかわらずシドニーパラリンピック銅メダリストに至った話や、100kmマラソンを完走した話などを紹介し、「誰もが障がい者になる可能性がある中で、そんな病気やけがを負っても目標を見つけて生活をエンジョイすることが大切」と訴えました。

その後、参加者はパラリンピック競技の「競技用車椅子」や「ゴールボール」「ボッチャ」を体験。「来年の東京パラリンピック大会の観戦が楽しみ」と話し、会場を後にしていました。

第41回市文化祭「川柳大会」

11月17日(日)、南那須川柳会(篠崎酔月会長)による「第41回那須烏山市文化祭川柳大会」が保健福祉センターで開かれ、県内外から川柳愛好者61人が参加しました。

当日は、事前に出される宿題として、「男の子、和服、良好、押せ押せ、酔い心地、苦勞、泊る、下戸」の

8題のほか、その場で出される席題として「市」が出題されました。

各題の選者が参加者から投じられた句を採点順に読み上げる「披講」では、参加者がひねり出した数々の名句が紹介され、ユーモアたっぷりの句に、会場から笑いがあふれていました。



今年で41回目を迎える川柳大会で県内外からの参加者にあいさつする南那須川柳会の篠崎会長

女性防災研修会 災害対応を女性目線で考える



市婦人会の女性防災研修会が10月23日(木)、保健福祉センターで開催されました。これは、災害時の市民の支え合いと避難所の支援のあり方などを女性目線で考え、安心して暮らせる地域づくりを進めようというものです。

参加した50人あまりの女性市民は、ハザードマップの見方など防災に関する基礎知識を学んだあと、県LPガス協会の橋本貴幸技術員の「LPガスを安全に使う基礎知識」について講話を受けました。さらに、日赤栃木県支部の浅賀昌代参事が「避難所における支援方法」を、実践を交えて指導。災害後のストレス反応や子ども・高齢者の支援方法から非常持ち出し品や義援金の知識までを学びました。くしくも台風19号で大きな被害を受けて間もない中、婦人会の柳田京子会長は、「今回の台風災害に当たっては想定外という言葉をよく聞いたが、それをどう防ぐかを考えなければならぬ」と話し、参加者たちは、真剣な表情で研修を受けていました。

写真／LPガスの安全な使い方についての講話風景

12月は滞納整理月間です!

ー税金は期限までに 必ず納めましょうー

市の税金は、所得のほか所有する軽自動車、資産(土地・建物など)に応じて課税され、税目ごとに納期限が決められています。

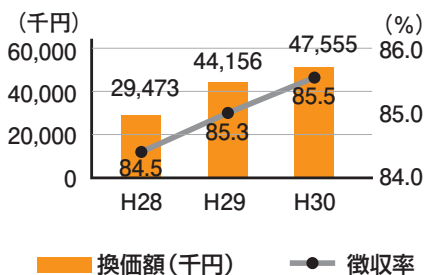
期限内に納めた納税者に不公平感を感じさせないため、市では、滞納整理に努めています。

■差し押さえとは

納期限を過ぎても納付が確認できない人には、20日以内に督促状を送っています。そして発送後、10日を過ぎても納付されない場合は、地方税法で「財産(給与・預貯金・生命保険・不動産など)を差し押さえなければならない」と定められています。

この法律に基づき滞納処分を執行した結果、市では過去3年間で1億2000万円以上の財産を差し押さえ、税金に充てました(換価額)。

換価額と徴収率の推移



滞納者の財産調査は、国税徴収法で認められています。本人への承諾も必要としていません。例えば、調査の結果、生命保険が発見されれば差し押さえることができ、将来のリスクに備えていた保障が無駄になってしまいます。

■納税は最優先です

「自動車や住宅のローンがあるから納税ができない」といった言い訳は認められません。地方税法でも、社会人としてのモラルの面でも、納税は最優先です。

納付のため窓口に出向く手間を省きたい人には、口座振替の方法があります。申請書は市内の各金融機関や税務課窓口に備え付けてあります。また、時間外にしか納付できないという人には、コンビニ納付もあり、納付書のバーコードをスマートフォンアプリPayPayにかざすだけでも納付ができます。

■相談してください

税金を納期限内に納めることが難しいという場合は、早めに税務課に相談してください。

■問合せ 税務課 ☎0287-83-1114

ピカピカだよ。

烏山保育園に 新園舎が完成



烏山保育園に新しい園舎が完成し、10月26日(土)には、関係者など60人あまりが出席して落成式が行われ、完成を祝いました。

同保育園は、大正15年4月、関東大震災で被災した児童のため慈願寺の本堂を開放したのが始まりです。今回で3回目の建て替えとなった新園舎は、木造2階建てで、木のぬくもりが感じられ、開放感たっぷりの造りとなっています。

落成式で同保育園の那須信純理事長は、「2025年の烏山保育園100周年を迎える前に、新たな園舎で保育の歴史を重ねることができて感慨深い。これから那須烏山市の保育の老舗を目指したい」と話していました。

いちごー会とちぎ国体

夢を感動へ。感動を未来へ。

アーチェリーってどんな競技?

70m先の標的を狙い、洋弓で矢を射て得点を競います。標的の直径は122cmで、中心部から10段階に得点が分かれています。野外で行われる場合は、風の影響による矢飛びがあるなど距離の見定めや、判断力も重要となります。

国体の予選ラウンド(個人戦)は、1選手が4分以内に6射を12回、計72本の矢を射ちます。決勝ラウンド(団体戦3人1組)は、予選ラウンドの3人の合計点の上位チームによるトーナメント方式で行われます。

アーチェリーは自然が相手のところもあり、強い選手が必ず勝つとは限らず、予測のつきにくい競技です。決勝トーナメントからはマッチ戦となり、6射ごとにポイント(勝ち点2点、同点1点)が与えられ、5ポイント先取で勝利となります。

1射ごとの手に汗握る展開をお見逃しなく。



茨城国体で決勝に臨むロンドンオリンピック銀メダリストの古川高晴選手



宇都宮大学と 八溝そば推進協等 共同研究を契約

11月15日(金)、宇都宮大学と八溝そば街道推進協議会、那須烏山市が共同研究契約書を取り交わしました。これは、同大学の農学部食品流通工学研究室による「規格外ソバを使用した味噌風味調味料の創製」や植物生産環境学研究室による「ソバの収穫阻害要因の探索」などの研究により、八溝そばの普及につなげようというものです。

取り交わし式では、川俣純子市長が、「宇都宮大学の力を借りて規格外ソバの活用方法や雑草対策が見つかり、八溝そばがさらに発展することを期待したい」とあいさつ。八溝そば街道推進協議会の國

井豊会長は、「八溝そばの作付面積は年々増加しており、品質も向上し、県内外から需要がある。本市は、台風19号で大きな被害を受けたこともあり、規格外ソバでも商品開発ができないかと考えている。この契約により八溝そばの商品開発や調査研究が進むよう力を合わせて進めていきたい」と話しました。また、同大学農学部の齋藤

高弘学部長は、「本大学が目指すのは、学生に満足してもらええる教育と地域の役に立てること。そのため、今回の取り組みはとても重要で、このような学びのチャンスを提供できたことにとても感謝して

いる。今後も、地域で抱えている問題をクリアし、発展につなげていきたい」と意気込みを話しました。この共同研究により八溝そばの知名度がますます上がり、特産品としてさらに磨きがかかることが期待されます。



契約を締結した齋藤学部長(中央)と國井会長(左)、川俣市長(右)

八溝そば街道推進協議会 新秋そばの出来栄を確認

11月20日(木)、八溝そば街道推進協議会(國井豊会長)による「新秋そば試食会」が城東の「そば夢サロン梁山泊」で開かれました。試食会には、同協議会の会員など約40人が参加。新秋そばの出来を確認しました。

秋そばは、そば本来の味を楽しめることが特徴です。

そば夢サロン「梁山泊」の廣木克臣さんによる講評では、「今年のそばは、台風19号の影響が予想されたが、とても甘みがあり、香りも良い。見事な玄そばを出してもらったので、とてもいいそばを打つことができた」と話していました。



新秋そばを試食する関係者

J Aなす南が 「にっこり」梨の出来を報告

J Aなす南では、11月1日(金)、荒井節組合長とJ Aなす南梨部会の小池隆久部会長が市役所烏山庁舎を訪れ、川俣純子市長に今年の「にっこり」梨の出来を報告しました。

「にっこり」は、「新高」と「豊水」を掛け合わせ、栃木県で生まれた梨で、その大きさに加え、甘く食感がいいことが特徴です。日持ちもするので、この時期多くの梨好きから人気を集めています。

小池部会長は、「天候不順が予想されていたが、今年も例年どおり生育が良いので安心した。一生懸命



報告に訪れた荒井組合長(右)と小池部会長(左)

命育てたにっこり梨を皆さんに楽しんでほしい」と話していました。

図書館落語会

南那須図書館では、11月2日(土)、初の「図書館落語会」を開き、地域住民など44人が参加しました。

当日は、冗談法人真岡落語研究会のアマチュア噺家4人により、「粗忽の釘」や「鹿政談」、「ハンドタオル」、「目黒のさんま」の落語が披露され、面白い噺に会場は笑いがあふれていました。



歌う海賊団ツ！がやってきた

商工会まつり&スー爺サントの軽トラ市

10月27日(日)、那須烏山商工会による「第12回那須烏山商工会まつり&スー爺サントの軽トラ市」が山あげ会館周辺で開かれ、5000人あまりの家族連れらでにぎわいました。

当日は、ステージで、ダンスや日本舞踊などが披露されたほか、今年初めて「歌う海賊団ツ！」が登場。子育てを頑張る親子を歌やダンスのショーで笑顔にしました。模擬店では、焼きそばや石窯焼

きびザなどを販売。また、ミニアクュム乗車体験は今年も大好評となり、順番を待つ子どもたちで長蛇の列ができていました。そのほか、ディンブルアート体験や烏山和紙のランプ工作、もちまきなど多彩な催しで会場は盛り上がりを見せました。

また、軽トラ市では、ハンドメイド雑貨の販売やバザー、金魚すくいなどが行われ、多くの人でにぎわいました。



歌う海賊団ツ！の登場で盛り上がる会場

シリーズ

市の文化財 第103回

市指定有形文化財(工芸品)

軍扇(2柄)(宮原)



軍扇ぐんせんとは武将が陣中で指揮に用いた扇のことで、2柄のうち1柄は箱書に「享保十二丁未歳八月吉辰 佐渡守藤原常春」とあり、大久保常春が宮原八幡宮へ奉納したものです。長さは37cm、広さは57cmで、親骨を含め12本の骨には黒漆が塗られています。紙は何枚も重ねられ、表は日の丸が金色に、裏は朱色になっています。また、作者は市口出雲守藤原宗元と箱書きされています。

もう1柄は「軍扇 佐渡守従五位下大久保氏藤原朝臣忠美 嘉永三庚戌年正月吉辰」と箱書きされており、作者は不明ですが、大久保家の紋章が用いられています。

シリーズ

公民館講座に行こう！

実施講座レポート

今回は、女性限定の「自分磨き講座」について紹介します。

講座ではどんなことをしたの？

全4回開催された講座のうち前半の2回は、セラピストの大

野薫さんを講師に迎え、むくみが気になる足のマッサージや、顔周りのリンパマッサージをしました。

はじめに、自分好みの香りを選んで、マッサージに使用するアロマオイルを作りました。マッサージが始まる前から素敵な香りが広がり、皆さんリラックスしながらマッサージをすることができました。



好みの香りでアロマオイルを作ります

後半の2回は、骨格診断アナリストの大橋尚子さんの指導で、自分の骨格診断を行い、骨格タイプに合わせたおしゃれについて学びました。

自分の骨格タイプから、似合うファッションの素材や形を知ることができ、参加者からは「今までよりファッションを楽しむことができそう」といった感想が寄せられました。



今回は女性限定の講座だったので、講師への質問や参加者同士の会話も弾み、とても和やかな雰囲気で開催することができました。「1回目の講座終了後もマッサージを継続している」との声もあり、講座で学んだことを忘れずに、これからも素敵な女性を目指しましょう。

その他の講座レポート

今回紹介した講座以外にも、市ホームページに「公民館講座実施レポート」を順次掲載していきますので、ぜひご覧ください。

■問合せ 烏山公民館

☎0287-8311412



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

鈴なり、国見のみかん



みかん狩りを楽しむ園児たち

みかんの最盛期を迎えた11月12日(火)、すくすく保育園年長組の園児20人が、小木須の国見地区でみかん狩りを楽しみました。

国見のみかんは、品種改良していない観光果樹園



語りの昔ばなしや民話の語りを披露

鳥山語りの会による「第13回語りのつどい」が、11月9日(土)、鳥山公民館で開かれ、地域住民など140人あまりが素朴な昔ばなしや民話の語りを楽しみました。

毎年、恒例となったこのつどいは、同会員の発表の場ともなっており、当日は、10人の会員が「かぐまのちから石」や「長者ヶ平」「桜の精」など9つの民話を披露しました。今年は、五月女佳子会長が初めて孫の「みあちゃん」と共

演じた「観音さまのお使い」を披露し、会場を和ませました。

五月女会長は、「今年は、台風19号の被害もあって開催を悩んだが、こういう時だからこそまちを元気づけたいたい。このつどいも13回目を迎えたが、多くのみなさんの支援で続けてこられた。引き続き練習を重ねて、心とませる語りを続けていきたい」と笑顔で話していました。

写真／孫と二人で語りを披露する五月女会長

新そばに舌つづみ 各地で収穫を祝う

「そばどころ」として知名度が増す那須烏山市では、11月、待ちに待った「秋そば」の季節が到来。市内各地では、新そばをはじめ様々な農産物の収穫を祝う催しが繰り広げられました。

■第8回神長そばまつり

「神長そばまつり」が、11月17日(日)、神長公民館広場で開かれ、市内外から500人あまりの家族連れらが、自慢のそばに舌つづみを打ちました。まつりは、神長そばまつり実行委員会(大森金



一会長が地域を盛り上げようと開いているもので、会場は、長蛇の列ができるほどの賑わいに。「今年の収穫は例年並みだが味



上から、賑わいをみせた神長そばまつり／有志が腕前を振るった月次秋の収穫そば祭

は格別」と同会事務局長の斎藤さん。会場では、「けんちゃんそば」や「もりそば」のほか、地元産の野菜も販売されました。

爽やかな秋到来

祝 100歳 滝田さんと永山さん

として日本北限とされ、酸味があって味が濃いのが特徴です。10月末から4つのミカン園がオープンし、観光客などでにぎわいを見せています。当日、園児たちは「国見山みかん園」を訪問。同園の小森義男さんにミカンのもぎ取り方を教わり、甘酸っぱい香りが漂う園内で袋いっぱいミカンを収穫しました。



滝田さん



永山さん

10月22日(火)野上の滝田幸さんが満百歳を迎え、25日(金)には、川俣純子市長が滝田さんを訪問し、祝詞や花束を手渡し、長寿を祝いました。

滝田さんは、編み物が得意で洋服や帽子などこれまで300点以上の作品を作ってきました。2階の寝室まで、今も欠かさず階段の上り下りをしているという滝田さん。長寿の秘訣は、「規則正しい生活と、何でも良く食べること」だそうです。

また、10月26日(土)には、大木須の永山福子さんが満百歳を迎えました。デイサービスに通ったり、歌を歌ったりして、毎日、楽しく過ごすのが日課という永山さん。同じように「好き嫌いなく良く食べる」のが長寿の秘訣だとか。

孫が11人、ひ孫が18人という永山さんは、今でも庭の草取りをするほどの元氣ぶり。「思いやりがある家族で良く面倒を見てもらっている」と幸せそうな笑顔で話していました。

■月次秋の収穫そば祭

月次の集落営農組合(小鍋恒夫会長)による「秋の収穫そば祭」が、11月24日(日)、月次公民館で開かれまし

■熊田西そばまつり

敬一館長とそば会越雲徹会長でも、11月24日(日)、熊田西公民館で「そ



熊田西そばまつり

「そばまつり」を開き、地元産新そばの味と香りを楽しむ人で会場は大賑わいとなりました。まつりは、以前の収穫祭を衣替えて去年

から始めたもので、「けんちんそば」のほか唐揚げ、おでんなど自慢の料理もふるまわれました。

■八ヶ代で収穫祭

八ヶ代自治会の「収穫祭」が、11月24日(日)、八ヶ代コミュニティセンターで開かれ、地域住民など250人あまりが参加しました。手打ちそばで親睦を深めようと開いているもので、収穫祭としては30回目。当日は、地区ごとにそば打ちを競い、地場野菜の「けんちんそば」で心も体も温まっていました。同自治会の小池要一会長は、「これからも仲の良い八ヶ代地区のため続けた」と話していました。

■第33回曲畑ふれあいまつり

曲畑の「ふれあいまつり」が11月17日(日)、曲畑公民館で開かれ、150人あまりの地域住民が参加しました。同まつり実行委員会による恒例行事で、運動会や芸能大会、収穫祭が丸ごと入った欲張りイベント。「地域と親睦を深めてもらおうと外国人が多い事業所に初めて参加してもらった」と実行委員会の佐藤力夫会長。会場は、和やかな雰囲気の中、笑顔が広がっていました。



八ヶ代収穫祭



曲畑ふれあいまつり

おめでた★

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 大野 花^か 望^{のん} (明宏・浩美) 志 鳥
 中 山 瑠^る 莉^り (聖己・柚貴) 奥^{おく} 子^こ 目^め
 小 森 双^{ふた} 葉^は (貴之・真由美) 旭^{あす} 子^こ 目^め
 木 島 楓^{ふう} 太^た (良信・彩香) 旭^{あす} 子^こ 目^め
 大 津 結^{ゆき} 希^き 乃^の (充之・佳澄) 三 箇
 小 口 湊^{みなと} 翔^と (倫幸・梓) 志 鳥
 小 池 舞^ま 華^か (弘恭・千秋) 小 倉
 酒 主 歩^ほ 華^か (侑 香) 初 音

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●第13回会長杯(混合)ソフトボール大会
 (10月15日(火)～17日(木)、緑地運動公園)

▽優勝：こぶし台 ▽準優勝：荒川南
 ▽第3位：藤田、三箇

●第14回那須烏山市秋季市民ソフト
 テニス大会 (10月27日(日)、緑地運動公園)

【一般の部】▽優勝：高津戸竜太、青山
 裕一 ▽準優勝：平野寛和、荒井由
 裕 ▽第3位：大野雅幸、笠井修
 シニアの部▽優勝：秋元隆夫、姿和男
 ▽準優勝：大野孝夫、澤村絹代 ▽第
 3位：木下光司、村上佳代 「グラン
 ドシニアの部」▽優勝：丸山ミツイ、
 矢口文子 ▽準優勝：今井保二、大崎
 美佐子 ▽第3位：荒蒔敏夫、福島ト
 ミ子

●第35回四倉町少年空手道演武大会
 (11月3日(日)、いわき市クリナップ井上記念体育館)

【個人組手競技】

「小学3年生男子組手」▽第3位：小池
 望夢(南那須空手道) 「小学5年生男子
 組手」▽準優勝：寺澤聖心(南那須空手道)

ご寄付ありがとうございます★

■ふるさと応援寄附金

小間洋和様(東京都中央区)から2千円、
 奥茂宏行様(神奈川県横浜市区)、小森顕博様
 (東京都北区)、北山厚様(神奈川県横浜市区)、傳
 礼央那様(東京都杉並区)、生沼ひかり様(神

求職者と企業の 未来をつなぐ

合同就職説明会・面接会

市では、11月8日(金)、風月カント
 リー倶楽部を会場に、本市と那珂川
 町で初めて合同で南那須地区雇用協
 会主催「令和元年度南那須地区合同
 就職説明会・面接会」を開きました。
 これは、働き手を充足できずにい
 る優良な地元企業が、ハローワーク



面接を受ける求職者

那須烏山や各企業と連携しながら雇
 用・企業情報を提供し、求職者の就職
 機会を提供することを目的に行った
 もの。求職者は、複数の事業所へ直接
 相談したり、面接を受けたたりするこ
 とができ、事業所も多様な人材の中
 から採用機会を得られます。

今回は、新たに栃木県宇都宮労政
 事務所の協力により、仕事の方向性
 などの悩みを持つ人が相談できる
 キャリアカウンセラーのブースを設
 けました。

当日は、同会員をはじめ、両市町の
 製造業や観光業など21のブースが設
 けられ、34人の求職者が参加。事業
 所の説明を受け、採用担当者との面
 接を行うなど熱心に就職活動を行い、
 15人の就職につながりました。

編集後記



○今月号では、受動喫煙を
 特集しました。私の父も喫
 煙者で、何度言ってもたば
 こをやめてくれません。「そ
 ろそろやめようよ」と私と
 母が何度言っても無反応…。これだ
 け心配しているのに、どうにかなら
 ないものか。

○毎月何気に悩むのがこの編集後
 記。ほつりと笑えるようなことを
 書きたいけれどなかなか難しいです。
 先日、母が卓球クラブの人達に編集
 後記の話をしていました。母は、「広
 報の編集後記ぜひ読んでね!もも(愛
 犬)がよく出てるから!」と。読んで
 もらいたいのは、紙面の方なのです
 が。。

○そして母の言うように度々編集後
 記に登場する「もも」。最近犬小屋や
 玄関に雪を降らせました。雪の正体は
 めいぐるみやクッションの綿。何度
 あげてもかじってしまったため、母も
 困っています。そしてそのめいぐる
 みはなんと私のおさがり(笑)「なんで
 壊すの」と聞くと悲しく反省した顔
 をするのですが、すぐにまた楽し
 そうに遊ぶ様子に呆れつつも許して
 しまうのは姉心? 親心?



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

鳥山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『夫のトリセツ』 黒川 伊保子
『不良という矜持』 下重 暁子
『超習慣術』 メンタリストDaiGo
『87歳と85歳の夫婦甘やかさない、ボケさせない』 神津 善行
『倒れるときは前のめり ふたたび』 有川 ひろ
『人間の芯』 曾野 綾子
『みちづれの猫』 唯川 恵
『こんなにも面白い万葉集』 山口 博

『ぽかぽかゆずおふろ』 すとう あさえ
『ふとんがふっとんだ』 新井 洋行
『ぽっちゃりマン』 のぶみ
『かなしみがやってきたらきみは』 エヴァ・イーランド

★DVD★

『ういらぶ。』 佐藤 祐市監督
『散り椿』 木村 大作監督
『まく子』 鶴岡 慧子監督
『猫は抱くもの』 犬童 一心監督
『キャプテン・マーベル』 アンナ・ボーデン監督他
『ヒミツのここたま 10』 新田 典生監督
『妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活』 ウシロシンジ監督
『忍たま乱太郎 せれくしょん』 芝山 努監督

★児童図書★

『いつ?どこで?ビジュアル版巨大地震のしくみ1』 佐久間 博
『食品ロスの大研究』 井出 留美
『あした、また学校で』 工藤 純子
『この海を越えれば、わたしは』 ローレン・ウォーク

2019.11.1現在
()対前月比

人口 25,124(-20)

男 12,478 女 12,646
出生 8 死亡 34
転入 77 転出 71

世帯数 9,348

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー

俳句

水野 信一 選

身に沁むや整骨院の施術台
諍^{いさか}ひて路傍の芒ゆれにけり

三森 純子(中央)

並木路二人の肩に散る銀杏

須田 孝子(城東)

彼岸花城跡染めて人集む

小針 久子(月次)

川柳

篠崎 酔月 選

朝夕の撒き餅雀来て食べる

菊地 宏(中央)

木星の匂いいきなり日本晴れ

南 美保子(福岡)

一瞬で家を呑み込む川の水

萩原 宜子(中央)

改めて宇宙の涙知る地球

杉山幸栄子(ハケ代)

短歌

滝口 節子 選

前を向くだけと言ふ友水害に桐の筆筈も廃棄せし
とふ 柳 つしま(中央)

増水の夜に避難せり那珂川のほとりに住みて恐る
しさ知る 鈴木 豊(谷浅見)

台風は去るも断水困り果てし時水運びくれし娘よ
安藤 伯麗(旭)

紫に茄子の花咲く霧の朝何か佳きことある予感す
須藤 ヤス(志鳥)

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

目指せ未来のJリーガー 小学生が大奮闘

9月21日(土)、大桶運動公園を会場に、「第13回J.A共済なす南カッパミニサッカー大会」が開催されました。

この大会は、子どもたちがサッカーをとおして心身を鍛えフェアプレーの精神を養うとともに、食と農への関心を深めてもらうおうと、那須南農業協同組合が開催しているものです。

当日は、市内チームのほか、那珂川町、矢板市から計26チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。また、会場では那須南農業協同組合の職員が、冷やしキュウリやかき氷などを振る舞い、選手たちを応援しました。



熱い戦いが繰り広げられたサッカー大会

シリーズ 烏山高校ってこんなところ!

市長とお茶しながら話そう!

11月14日(木)、市の広聴事業の一環として、烏山高校の生徒と川俣純子市長との懇談会「市長とお茶をしながら話そう!」が中央3丁目の「cafe&diningふじや」で開かれました。

懇談会には、同校の生徒会役員11人と川俣純子市長、市職員が参加。川俣市長を囲み、「台風19号の被害の対策・対応について」、「聖火リレーの盛り上げについて」、「高校生が勉強できる空間(飲食店)の増設について」、「烏山高校の送迎場所の提供について」、「烏山駅やバスの電子マネーの導入について」の5つの質問のほか、「暗い道に街灯を増やせないか」や「婦人科や産婦人科を作れないか」などの質問や提言が出され、お茶をしながら和やかな雰囲気の中で、意見交換をすることができました。



生徒のコメント

2年 北條喬伽(那珂川町)

市長は、私たちの質問や要望を真剣に聞き、実現のために何をすべきで何が必要かを具体的に教えてくださいました。特に「烏山駅でSuicaを使えるようにしてほしい」の話し合いでは、懸命にJRに要望していることを知りました。今後、本市は、いろいろな年齢層の人が不便を感じることなく生活できるようになってほしいです。

また、自分達も、烏山学で市について学び、山あげ祭などの市の行事に積極的に参加したり、SNSで市の情報を拡散するなどして市を盛り上げられると思いました。

生徒のコメント

2年 佐藤駿太郎(小白井)

今回の懇談会で、普段の生活で知ることができないことや市の取り組みなどを聞き、とても多くの発見がありました。特に災害についての対策や対応の質問では、「こんなことも市でやっているのか」という幅広い取り組みを聞き、驚きました。

これからは、山あげ祭に来る外国人観光客や高齢化により増える高齢者に対して優しい市になってほしいと思います。

私たち高校生も、烏山学で本市が抱える課題などを詳しく学び、発展につなげていきたいと思いました。



曲田横穴墓群

那須烏山ジオパーク構想だより ③2

市内に数多く存在する横穴墓

みなさんは横穴墓を見たことがありますか?実は那須烏山市は県内でも多く存在している地域です。

市内には、海生層(荒川層群)の凝灰岩層が広く分布しています。この層は比較的柔らかいですが急崖を形成しやすいという特徴を持ち、さらに、亀裂も少なく掘削時に崩れにくいいため、古くから人々の生活の中で活用さ

れてきました。このため、掘りやすさや墓としての崩れにくさを考えて場所を選定してきたことがうかがえます。

曲田横穴墓群は市内にある横穴墓の中でも、比較的規模が大きく、さらに未開口の横穴の存在が考えられています。ほかにも、十二口横穴墓群、芝下横穴墓群、中山横穴墓群などの市が誇る史跡として文化財に指定されているものもあります。

〜見どころ紹介〜